

長寿医療制度? バカにしている! 名前変えても本質は同じ

年齢による
差別医療の開始

後期高齢者医療制度は中止・撤回を!



↑札幌駅南口の昼宣伝
右下: 西区共闘の宣伝(宮の沢)

福田康夫首相は1日の閣僚懇談会で、この日から始まった後期高齢者医療制度について、「周知不足。ネーミングもよくない」と指摘し、通称を「長寿医療制度」とするよう舛添要一厚生労働相に指示したそうです。夜のニュースで流れましたが、多くの人から「バカにするな」「姑息なことをして」といった怒りの声が出ています。正にKKY内閣(国民の気分・感情が読めない内閣)ではないでしょうか。

1日は全国・全道で抗議宣伝が行われ、昼には札幌駅南口で道社保協や各界連が消費税増税反対とあわせて、50人での宣伝が行われました。西区病院共闘は、西区社保協と共に地下鉄宮の沢で24人が参加して、強風の中署名宣伝行動を行いました。

後期高齢者-4/1ドキュメント **各院所からの報**



【余市】初日で目立ったことは、当該高齢者で保険証を持ってこない方が散見されたことです。後期高齢者医療保険証の提示を求めると「そんなの送られてきてない!」「知らない」「わたしは年寄りだから家族に聞かないとわからない」などの反応がけっこう多かったです。

さらに、窓口では保険の登録作業で通常よりも受付会計時間で相当お待たせしてしまいました。診療報酬改定による外来加算要件クリア対策による待ち時間の増加も加え、何件か苦情も寄せられました。

【柏ヶ丘】入所中の方のご家族からの問い合わせで、1月に長男の死去に伴って厚別区から中央区の次男宅に住所を移動したことで負担が減額対象から外された方でしたが、保険は単独になっているのだが届いた保険証をみると3割負担と書いてある。多分、世帯を分離されていないのではないかと思いますので、そのお勧めもしましたが、保険料と1割負担の関係など、これまで聞いている通り一遍の説明では理解が出来ないと憤っていました。また、函館の市議からはスタート前の31日に市役所窓口で相談問い合わせに来た人が200人、電話は1日中鳴りっぱなしとのことでした。

【苫小牧】初日はかなり混乱しました。社保被扶養者で被保険者とは別居している人-グループホーム入居者や独居老人などは、後期高齢者医療保険証が被保険者宛てに送られており本人には届いていないという方が何人かいました。また、道老、退職者医療保険も国保に変更されており、窓口ではチェックに相当手間がかかっています。

【黒松内】窓口では「届いていない」という方が数名おりました。往診では、封書を開けていない方、ゴミに出したという方、無くしたという方がいました。役場に問い合わせをしたところ、病院窓口からの問い合わせがあるが、本人からは数名の問い合わせしかないが、再発行をします、ということでした。

【室蘭】保険証をもってこない方や、窓口で会計をすると「年金からの天引きでないのか」と保険料と窓口一部負担の区別が付かない方などいらっしゃいました。

共同デスク

No. 460 2008年4月2日

北海道勤医協本部組織広報部
Tel 823-0867 fax 821-3701

4.15 年金・後期高齢者一斉宣伝行動

全道各地で年金支給日宣伝が行われます。札幌各区、当別、小樽、余市、苫小牧、室蘭、苫小牧、砂川、赤平・歌志内などで予定されていますので、年金者組合・社保協と共同で行いましょう!

4.12 医師・看護師増やして ロングラン宣伝

4月12日(土)

12:30~14:30

大通西4丁目

宣伝アピール・署名

血圧・体脂肪測定ほか

主催: 北海道医労連・勤医労